



片瀬教授(右)から正しい靴の履き方を学ぶ児童

靴の正しい選び方や履き方を学び、健康な

靴選び、履き方指導

足から考える子どもの健康

倉吉・明倫小で講演会

足をつくる講演会が22日、倉吉市余戸谷町の明倫小学校で開かれた。金城学院大学生活環境学部(名古屋市)の片瀬真由美教授が「足から考える子どもの健康」をテーマに講演。児童は、正しく靴を履くことの大切さを学んだ。

足に合っていない靴を履くことなどが原因で指が曲がる外反母趾や、内反小趾の症状が子どもたちに現れているのを受け、靴の正しい履き方を児童に学んでほしいと、同校が企画した。

片瀬教授は「小学生のころは、足がすぐくると育つ大切な時期」と指摘。「足をたくさ

ん使い、元気に遊ぶことが大切」と説明した。

正しい靴の履き方については「足を靴に入れた際に、つま先を上げてかかとを地面にトントンとして足と靴のかかとを合わせ、テープやひもを結んで固定

鳥 ワイド 取

情報はこちらへ

本社
 ☎0857(21)2880
 中部本社
 ☎0858(26)8311
 東伯支局
 ☎0858(53)0671
 但馬支社
 ☎0796(82)4541
 Eメールアドレス
 houdou@nnn.co.jp

する」と、実技を交えながら解説した。

同校2年の片岡寛樹君は「足をトントンして靴を履くと、いつもより速く歩いたり走ったりできた」と話していた。

(熊谷邦宏)